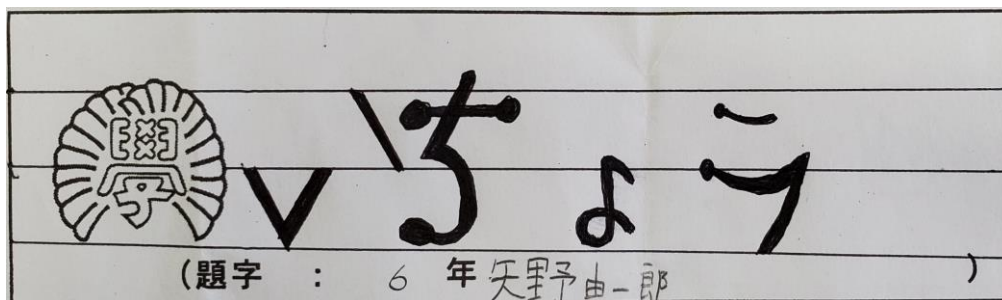




令和2年7月7日

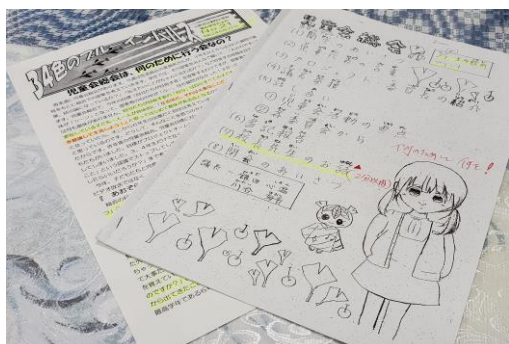
No.21号

山形市立第四小学校
校長 日高 伸 哉

<児童数 204名>

TEL 623-6019

「人のことを自分のこととして考える」 いちよう児童会目標決定 「児童会総会」7/1（水）



先週の水曜日に、いちよう児童会総会が開催されました。3～4校時にかけての、3年生～6年生全員による大規模会議です。左の写真は、執行部作成の議案書と6学年だより「34色のブルーインパルス」No. 21号です。

この議案書を作成するに当たり、児童会執行部（プロジェクトチームと各委員会委員長）が中心となり、連日、打ち合わせや会議を開いて

いました。手間暇を惜しまずに、吟味を重ねて作成した議案書。丁寧な字体はもちろんのこと、1年生にも読めるようにと、漢字にはすべてルビがふってあります。まさしく「人のことを自分のこととして考える」姿勢の具体的な「残り姿」です。提案理由も、具体的でよくわかります。各委員会の活動も十分練り上げられており、私たちの第四小をより良くしていこうとする「志^{こころざし}」が読み取れます。さすがは、学校を引っ張る最上位学年です。

「34色のブルーインパルス」No. 21号では、6学年担任の浩二先生が、34名の大切な仲間に向かって「児童会総会は何のために行う会なのか」を問いかけます。本質を突いた、本気の問いです。当日、6年生は、その問いに見事に応えてくれました。活発な質疑はもちろんのこと、どこまでも丁寧に、どこまでも詳しく、どこまでも「自分事として考えよう」という姿勢で貫かれていました。「わかったつもり」で終わらずに、より深くわかるために、言葉を選びながら語りかける6年生の姿に、目頭が熱くなったのは、私だけではなかったと思います。納得を生むいい話し合いができました。素晴らしいいちよう児童会総会になりました。

児童会総会は、「民主主義」を学ぶよいチャンスです。「自分たちのことを、自分たちで決める」「自分たちのくらしを、自分たちで創ってゆく」、そういう活動を通して、少しずつ大人になってゆきます。また、総会で決定された目標の「人のことを自分のこととして考える」ことは、いちようの子の「心の豊かな子ども」に直結します。孔子の言う「恕（じょ）」、思いやりの心です。これからの学校生活が、本当に楽しみです。

